

対象国の条件: 砂漠化対処条約 (UNCCD) に加盟するサブサハラアフリカ国

研修コース番号: 201984911-J002

案件番号: 201984911

主分野課題: 自然環境保全/持続的森林管理

副分野課題: 自然環境保全/荒地回復

使用言語: 英語

**案件概要**

本研修は、サブサハラアフリカの気候変動に脆弱な国において、砂漠化対処に係る省庁の政策策定に携わるシニアクラスの行政官を対象に、当該分野の政策立案及び実施強化のための知識の習得や、参加者間で知識共有を行う機会を提供し、自国の気候変動対策やレジリエンス強化に資する砂漠化対処に関する政策立案・実施能力の強化を行う。

目標/成果	対象組織/人材	
<p><b>【案件目標】</b> 砂漠化に関する国際的議論や、日本及び他国の砂漠化対策やレジリエンス強化のための取組を理解するとともに、関係者との議論も通じ、砂漠化対処に関する国内政策立案及び実施を推進するための政策・計画（改善）案を作成する。</p> <p><b>【成果】</b> 1. UNCCD等の砂漠化対処等に関する国際議論の理解 2. 我が国の砂漠化対処に関する国際支援の理解 3. 砂漠化対策に有効な技術やアプローチの理解（植生回復、土壌保全による食糧安全保障、貧困削減、参加型開発手法等） 4. 研修員が携わる砂漠化対処に関する政策の改善案の作成 5. 研修員間のネットワークの構築</p>	<p><b>【対象組織】</b> 砂漠化対処、もしくは当該分野の調整機能を担う省庁</p> <p><b>【対象人材】</b> 砂漠化対策を担う省庁関係部署においてリーダー的立場の者（課長レベル以上が望ましい）。勤務経験10年以上の者で、国内調整や国際社会において発信できる権限と能力を有するもの。</p>	
<p><b>内 容</b></p> <p><b>【事前活動】</b> インセプションレポートの作成（砂漠化に関する担当業務の現状と課題、本邦研修で習得したい事項、研修で達成したい成果の設定（政策の改善等）） <b>【本邦研修】</b> 以下の内容の講義、視察、討論を行う。 1. 講義：砂漠化対策に関する国際議論、我が国の砂漠化対処に関する国際支援、砂漠化対策としての技術及びアプローチ（植生回復、土壌保全による食糧安全保障、貧困削減、参加型開発手法等） 2. 視察：鳥取大学乾燥地研究センター等（未定） 3. アクションプランの作成及び討論</p>	<p><b>本邦研修期間</b></p>	<p>2019/11/10～2019/11/28</p>
	<p><b>担当課題部</b></p>	<p>地球環境部</p>
	<p><b>所管国内機関</b></p>	<p>JICA筑波（研修業務）</p>
	<p><b>関係省庁</b></p>	
	<p><b>実施年度</b></p>	<p>2017～2019</p>

<p><b>主要協力機関</b></p>	<p>一般財団法人地球・人間環境フォーラム</p>
<p><b>特記事項及びホームページ</b></p>	<p>本研修は、JICAがパートナーとTICAD VIで立ち上げた「サヘル・アフリカの角砂漠化対処による気候変動レジリエンス強化イニシアティブ」の一環として行う。</p>